

17

キャンプファイヤー【自主活動】

1 活動のねらい

活動をともにした仲間と炎を囲み、自己を見つめ直したり、協力することの大切さを考えたりする
ふりかえりの機会とします。

2 活動の概要

闇を照らす炎の神秘的な灯りの中で、火を迎え・送るセレモニー、炎を囲み演じるスタンツとレク
リエーションをとおり、参加者の仲間意識を深め、感動と思い出を刻む活動です。

3 人数（場所）・時間

- (1) 人数（場所） 200名程度（A営火場）
100名程度（B営火場）
50名程度（C・D営火場）
※C営火場：ソフトボールグラウンド
※D営火場：グラウンド
- (2) 期間 5月上旬（ゴールデンウィーク明け）～10月下旬
- (3) 時間 1時間～2時間程度（18:30～20:30頃まで）



4 指導について

活動は、団体の自主活動となります。

なお、希望団体は、進行・レクリエーション等について、指導員を依頼することができます。依頼する場合は、利用申込書と一緒に「指導依頼申込書」を提出してください。

指導料は、1名につき7,700円（1時間30分）です。支払いは、活動終了後に現金又はコンビニ支払い、銀行振り込みをしてください。

5 準備する物

区分	内容	備考
団体	・薪、マッチ、トーチ ・懐中電灯 ・営火長の衣装 ・音楽CD等	・薪セットは売店で購入可
貸出できるもの	・音響設備（カセットCDプレーヤー、マイク等） ・延長コード ・貸し出し用営火長の衣装（4セットまであります。）	

【薪セット料金】

種類	内容	人数	金額
キャンプファイヤー 大セット	・丸太20本（高さ45cm程度） ・焚き付け薪1束、小割薪2束、 灯油1ℓ ・2時間程度の活動向け	80名程度	5,750円
キャンプファイヤー 中セット	・丸太16本（高さ35cm程度） ・焚き付け薪1束、小割薪1束、 灯油1ℓ ・1時間～1.5時間程度の活動向け	40名以上	4,740円
たき火セット （灯油はつきません）	・焚付け薪1束 ・小割薪2束	10名程度	1,380円

6 引率者の役割分担

項目	内容
健康観察	参加者の健康状態を把握する。
安全対策	火の取り扱い、後片付けに注意を喚起する。
事故発生時の対処	けがや事故が発生した場合は、直ちに事務室に連絡する。

7 活動の流れ

活動の流れ		内容	備考
事前	指導員依頼	・「指導依頼申込書」（指導員依頼の場合）	・利用申込書と 一緒 に提出
当日	薪の準備	・営火場に業者が薪を搬入する。 ・薪を井桁に組み上げる。	
	機器の準備	・放送機器等を、事務室で借りる。	
	活動実施	・営火（儀式、レクリエーション等）	
	活動の終了	・営火場の消火(十分に水をかけ消火)を確認する。 ・事務室に終了した旨を連絡する。 ・借用物品を返却する。	
翌日	後始末	・朝の清掃時、残り火の完全消火を確認する。 ・灰と燃え残りは土のう袋に入れて、灯油の空容器と一緒に <u>指定の場所に運ぶ。〔8(9)に記載〕</u> ・終了後、事務室に連絡する。	・土のう袋は受付時に受け取る。 ・薪持込の場合、燃え残り等は、団体が持ち帰る。

8 実施上の留意点

- (1) 薪を濡らしてしまうと返品できません。実施の判断に迷う天候の場合は、事前に薪を組まず、実施の直前に組むことをお勧めします。
- (2) 薪を注文している場合は、夕方までに各営火場のそばに設置してある薪置き場に薪を用意しますので、団体で準備を行ってください。
- (3) 薪を組み上げたら、雨などで薪をぬらすことのないよう、実施直前まで備え付けのブルーシートを掛けておいてください。（荒天で中止の場合、薪は水にぬれていない・火をつけていない・灯油をかけていない状態での場合は返品可能です。）
- (4) 風向きを考え、火災ややけど等に注意してください。
- (5) 薪は、出来る限り灰になるまで燃やしきるようお願いいたします。
- (6) 燃え残りが出た場合は、水をかけて完全に消火したことを確認してください。
- (7) 薪の燃え残りを入れる袋（土のう袋）は、事務室で受け取ってください。（受付時）
- (8) 周辺には外灯が少ないので暗闇で転んでケガ（コンクリートのイスに顔を強打する等）をする可能性があります。実施前後は参加者に注意を呼びかけてください。
- (9) 次の日の朝、燃え残りを土のう袋に入れて、下記の場所に置いてください。

〔土のう袋置き場〕

- A営火場・・・A営火場わきのドラム缶のとなり。
- B営火場・・・B営火場わきの薪置き場近く。
- C営火場・・・ソフトボール場倉庫のわき。
- D営火場・・・グラウンドトイレのわき。

キャンプファイヤー展開例（3部形式）

1部…点火

2部…ゲームやスタンプ

3部…まとめ

★ あくまでも例なので、この内容にとらわれず、団体の性格や利用の目的に合ったものを自由に考えて実施する。

1 第1部（静かな雰囲気の中で：点火）

項目	内容	留意事項
①打合せ	・入場前にキャンプファイヤーの流れを説明する。	・気持ちの準備をして、静かに入場するよう指導する。
②入場	・全員静かに入場し、輪になる。 ・はじめのあいさつ。点火係紹介。	・静かな雰囲気です。
③点火	・点火係が入場し点火する。 ・火が大きくなってゆく様子を、全員で静かに見守る。	・ゆっくり輪の内側を一周し点火する。
④歌	・炎を見つめながら歌を歌う。 ・第2部に向けて気持ちを切り替える。 ・誕生日の人やうれしい出来事があれば、紹介しても良い。	・みんなが知っている歌を選ぶ。

2 第2部（明るく楽しい雰囲気の中で：明るい炎を囲んでのゲームやスタンプ）

全体での歌、レクリエーション、ダンスやグループ毎のスタンプ発表等、時間配分を考慮して実施する。

3 第3部（静かな雰囲気の中で：小さくなった炎を囲んでのまとめ）

項目	内容	留意事項
①詩の朗読等	・気持ちが落ち着くような詩や格言、本の一部を引用しても良い。	・今までの活動をふりかえる時間とする。
②まとめの言葉	・団体責任者が、これまでの活動を通して、感じたことや伝えたいことを話す。	
③歌	・終わりにふさわしい歌を選ぶ。	